

東京バッハ合唱団 第121回定期演奏会

BACH-CHOR, TOKYO  
since 1962



創立60周年記念公演

カンタータ第21番 《われは憂いに沈みぬ》

Ich hatte viel Bekümmernis BWV 21

カンタータ第1番 《あしたに輝く たえなる星よ》

Wie schön leuchtet der Morgenstern BWV 1

カンタータ第147番 《心と日々のわざもて》

Herz und Mund und Tat und Leben BWV 147

J. S. バッハ曲・日本語上演

使用楽譜：ブライトコップ日本語版バッハ・カンタータ楽譜全集（大村恵美子訳詞）

5/14 [土]

開演 14:00 (13:15 開場)

Saturday 14 May, 2022



■聖母とイエス(左)と洗礼者ヨハネ [ラファエッロ画]

杉並公会堂

(荻窪駅下車、北口徒歩7分)

Suginami Koukaidou

ソプラノ 光野孝子

MIITSUNO TAKAKO, soprano

テノール 鏡貴之

KAGAMI TAKAYUKI, tenore

アルト 谷地畝晶子

YACHIUNE SHOKO, alto

バス 山本悠尋

YAMAMOTO YUKIHIRO, basso

管弦楽 コレギウム・アルモニア・スペリオール・ジャパン (ARS)

COLLEGIUM ARMONIA SUPERIORE JAPAN, orchestra

オルガン 室田千晶 MURODA CHIAKI, organ

合唱 東京バッハ合唱団 BACH-CHOR TOKYO, chorus

指揮 大村恵美子 OHMURA EMIKO, conducting

■チケット(全席指定席) A席：4000円(当日4500円) B席：3000円(当日3500円)

- ① 新型コロナウイルス感染対策のため、前後左右の席を間引いてお客様同士の距離を確保した上、全席指定席(500席限定)とさせていただきます。
- ② ご来場者(席番号に対応)の連絡先を事務局にて管理し、万が一に備えさせていただきます。チケットお申し込みの際に、ご登録をお願いいたします。
- ③ A席エリア(ホール中央部より)とB席エリア(それ以外)とを設定しますが、受付能力の限界のため、席番号までのご指定はお受けできません。ただし、並びの席(一つ空き)のご希望には、可能な限り対処いたします。人数をお申し出ください。④ その他、感染対策にご協力をお願いいたします。

■お申し込み/お問い合わせ：東京バッハ合唱団事務局(裏面に詳細と「申し込みフォーマット」)

<http://bachchor-tokyo.jp/> メール [office@bachchor-tokyo.jp](mailto:office@bachchor-tokyo.jp) 電話 03-3290-5731



東京バッハ合唱団/主催

ドイツ連邦共和国大使館/後援



## ■ 創立 60 周年記念公演、作品へのご案内

J.S. バッハのカンタータは、18 世紀のライプツィヒの教会暦に忠実に沿った歌詞内容で作曲されましたが、300 年後のわれわれは、教会暦の知識に捉われずに十分に楽しむことができ、心を揺さぶられるほどの共感を得ています。それぞれの聖書箇所には、その読み取った思い、情緒などが、卓越した音楽表現となって現代の聴衆の耳に直接とどくからなのでしょう。バッハの天才的な普遍化能力が（われわれの母語へと変換された歌詞も与って）、個々の曲中の、望みと祈り、喜び、憂いや痛みを、今のわれわれの、それらにピタッとつけてしまうのです。

ただし、各作品の教会暦聖句を読んでみると、その感動の深みが増すことは間違いありません。試してみてください。

**カンタータ第 21 番《われは憂いに沈みぬ》**“失われた羊、無くした銀貨の譬え。逸れた一匹を見出した喜びは大きい”（三位一体節後第 3 日曜日）→ルカ 15, 1-10。

**カンタータ第 1 番《あしたに輝くたえなる星よ》**“天使が現れてマリアに告げた「おめでとう、恵まれた方、主があなたとともにおられる」”（マリアの受胎告知の祝日）→ルカ 1, 26-38。

**カンタータ第 147 番《心と日々のわざもて》**“マリアの挨拶を聞いて胎内の子（後の洗礼者ヨハネ）が踊った”（マリアのエリサベト訪問の祝日）→ルカ 1, 39-56。

[右段へつづく]

創立 60 周年を記念する当公演の曲目は、団員の希望投票をもとに選ばれたものです。いずれも、われわれの 5 回以上の上演歴をもつ人気の名曲、節目の年の祝賀にふさわしい大型で華のある逸品ぞろいとなりました。パндеミックという特殊な状況下、この公演が実現すれば、2 年半ぶりの定期演奏会開催となります。この間、多くの知見と試みが重ねられましたし、なんとかやり抜きたいものです。

ところで、3 曲のうち 2 曲が、偶然にも「マリアの祝日」用に作曲されたものでした。プロテスタント教会ではイエスの母マリアを聖人とはしませんので、意外に思われた方がいらっしゃるかも知れませんが、バッハ時代のライプツィヒでは、われわれの想像以上に、改革以前の典礼内容や音楽様式が継承されていたのです。バッハにも、この 2 曲のほかにもマリアに関連する作品が数多く残されています。

当チラシ表面の挿画は、ルネサンスの雄・ラファエッロから借りました。マリアの膝もとに遊ぶ二人の幼児が描かれていますが、左が将来のイエス・キリスト、右で杖を持つのが後の洗礼者ヨハネです。選曲の偶然からこの名画に至りました。

われわれ 60 年目の東京バッハ合唱団も、“憂いを去って”（BWV 21）、“希望を仰ぎ見つつ”（BWV 1）、“心と日々のわざ”（BWV 147）すべてを挙げて、新しい 10 年の歩みを踏みだし、歌い続けてゆきたいと願っています。

変わらぬご声援をお寄せいただければ幸いです。

## ■ 演奏者プロフィール



### ● 光野孝子（ソプラノ）みつ・たかこ

島根大学教育学部特別音楽課程卒業。オペラでの活躍に加え、宗教曲においてもバッハを中心に多くの作品でソリストを務めている。2006 年ライプツィヒ・バッハフェスティバルに、樋口隆一指揮・明治学院大学バッハアカデミー合唱団のソリストとして出演、好評を博す。当合唱団の音楽指導の他、合唱指揮でも活躍中。二期会会員。



### ● 鏡 貴之（テノール）かがみ・たかゆき

東京芸術大学大学院修士課程独唱専攻修了。主にオラトリオ、宗教曲のソリストとして活躍中。バッハの作品では多数のソロを務め、活動の中心としている。2007 年当合唱団「マタイ受難曲」エヴァンゲリストで絶賛を博し、以来続演。BCJ 声楽メンバー。2012 年第 4 回東京国際声楽コンクールにて 1 位・東京新聞賞・審査員特別賞受賞。



### ● 谷地敏晶子（アルト）やちうね・しゅうこ

岩手大学教育学部卒業。東京芸術大学音楽研究科博士後期課程独唱科修了。第 16 回日仏声楽コンクール第 1 位。2012 年度三菱地所賞受賞。バッハ「クリスマス・オラトリオ」、「ロ短調ミサ」、「マタイ受難曲」、「ヨハネ受難曲」、ヘンデル「メサイア」など、主に宗教曲においてアルトソリストを務める。岩手大学、岩手県立大学非常勤講師。



### ● 山本悠尋（バリトン）やまもと・ゆきひろ

東京芸術大学大学院首席修了。芸大メサイアにてソリストを務める。修了時に大学院アカンサス音楽賞、武藤舞賞を受賞。2018 年より渡伊。各地でオペラのタイトルロールを演じ、宗教曲でもバッハ、ヘンデル、モーツァルトなどでソリストを務めた。指揮者のダグラス・ボストック、鈴木雅明、井上道義、トレヴァー・ピノックの各氏と共演。

### ● コレギウム・アルモニア・スペリオレ・ジャパン (略称:ARS)

COLLEGIUM ARMONIA SUPERIORE JAPAN 2018 年に誕生した演奏家のための“研鑽団体(Collegium)”。経験豊富な演奏愛好家と音楽専攻を目指す学生を対象に、緊密なアンサンブルによる“よりよき響き(Armonia Superiore)”の追及を目的とし、マスタークラスや演奏会実践形式での研鑽を実施している。2019 年に当合唱団の小布施・野尻湖コンサートツアーに有志が同行して以来、活動趣旨を共有して協演をつづけている。

### ● 室田千晶（オルガン）東京バッハ合唱団団員。

### ● 大村恵美子（指揮）

東京バッハ合唱団主宰者・常任指揮者。東京芸術大学楽理科および作曲科卒業後、フランス・ストラスブール大学と同音楽院に留学。在学中よりバッハのカンタータ演奏を志し、1962 年帰国とともに合唱団設立。今日までに既にバッハ宗教合唱作品のほぼ全曲の上演用訳詞を完成し、順次刊行中、既刊 81 曲。多くは自らの指揮で上演を続けている。『バッハ コーラル・ハンドブック』(春秋社・2011 年刊)ほか、著書・訳書多数。

### ● 東京バッハ合唱団

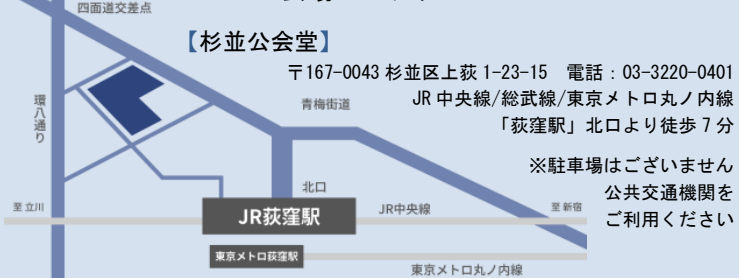
教会カンタータを中心にバッハの作品のみを演奏し、研究する団体として 1962 年大村恵美子の呼びかけで組織された。都内での定期演奏会（今回、第 121 回）や各地教会等での特別公演など、あわせて 200 回を越すコンサートを、主に大村恵美子の指揮で開催し、わが国へのバッハ音楽普及に貢献している。国内では日本語上演（大村恵美子訳詞）を原則とするが、ドイツを中心に海外巡演（原語上演）も 5 回を数える。本年 7 月に創立 60 周年を迎える。

## < バッハ演奏、なぜ日本語か？ >

東京バッハ合唱団は、1962 年の創立以来、わが国におけるバッハ演奏のパイオニアとして、教会カンタータを中心に多様なジャンルの合唱曲を紹介し続けていますが、国内の公演においては、われわれの母語である“日本語”による上演を原則としています。

なぜ日本語か？ それは私たちが日本語で考え、思い、感じているからです。 ※1

## ■ 会場へのアクセス



※1 言語の壁は、心のもっとも奥深いところでの共感を阻みます。訳詞演奏は、精神そのものである母語によってその壁を超えてみようとする一つの試みにほかなりません。

欧米では、それぞれの受容国の言語に翻訳してのバッハ作品演奏が普及しています。当合唱団は、欧米諸国の多くの市民合唱団と同様の立場、すなわち、日常の使い慣れた言語によって、歌詞と音楽を、心の奥底で同時に味わおうとしているのです。

バッハ音楽の精神的背景には、母語をとおして神と直接向き合おうとする、改革者ルターの思想が色濃く反映されています。また、バッハにいたって西洋音楽は、個々のテキストの意味、あるいはテキストの背後の理念や情調に音の形を与えることにより、ラテン語やドイツ語といった特定の言語の制約を超越するに至りました。

ですからバッハ音楽の中にあつては、どの言語圏の人々も安心して自分たちの母語に身をゆだねることができるのです。東京バッハ合唱団の日本語による演奏が、バッハ音楽の普遍性の証しとなることを確信しています。

2000 年以降の公演では、ドイツのブライトコップ社より底本の提供を受けた日本語版楽譜（自費出版）に依拠することを原則としています。日本語上演の定着を願い、本年の創立 60 周年を期し、大村恵美子個人完訳『日本語版バッハ・カンタータ楽譜全集』（全 192 曲予定）完結に向けて、10 年計画がスタートします。ご協力いただければ幸いです。

## ■ チケットお申し込みフォーマット

- ・メール (office@bachchor-tokyo.jp) によるお申し込みを歓迎します。下記の必要事項 (◆印) を必ずお書き添えください (書式はご自由)。
- ・ホームページ (http://bachchor-tokyo.jp/) から申し込みます。 ・電話 (03-3290-5731) でもどうぞ。
- ・ファックス (03-3290-5732 ファックス専用。番号にご注意) の方は、当用紙にお書き込みの上、そのまま送信してください。東京バッハ合唱団

東京バッハ合唱団 第 121 回定期演奏会（創立 60 周年記念公演）の入場チケットを申し込みます。

◆ \_\_\_月\_\_\_日

◆お名前	◆チケットお送り先 (郵便番号: ) ・住所:	◆緊急連絡先 (お申し込み者 ※1) ・メール: ・電話:
◆席種 (※2) と枚数	・A 席 (4000 円): ___枚 (並び席を、希望する / しない)	・B 席 (3000 円): ___枚 (並び席を、希望する / しない)

※代金のお支払い方法: チケットは郵送します。郵便振替用紙を同封しますので、到着後、お近くの郵便局にてお払い込みください。振込手数料はご負担いただきます。お申し込み後、3 日以内に届かない場合は、恐縮ですが、ご連絡をお願いします。

※1 感染対策のための緊急連絡先は、お申し込み者のみのご登録ですが、チケットのお配り先全員の連絡先を、銘々にて、あらかじめご確認ねがいます。

※2 客席は、A 席エリア（ホール中央部より）と B 席エリア（それ以外）とを設定しますが、受付能力の限界のため、番号までのご指定はお受けできません。事務局にご一任いただきますので、あらかじめご了承をお願いします。ただし、並びの席（一つ空き）のご希望には、可能な限り対処いたします。

※ その他、お煩わせいたしますが、感染対策にはよろしくご協力をお願いします。